

松下幸之助経営塾

[第十五期] 2017年9月開講 特別講師



佐久間 昇二 (さくま・しょうじ) ぴあ株式会社 社外取締役

1931年、新潟県生まれ。54年、大阪市立大学経済学部を卒業。56年、同大学院経営学研究科修了後、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。83年、同社取締役・経営企画室長。86年、同社専務取締役。87年、同社取締役副社長。93年より株式会社WOWOW(当時は日本衛星放送)代表取締役社長に就任。以来、徹底したコスト管理と営業強化によって、倒産すら危ぶまれていた同社を再建に導く。社員に対しては、逆境こそ攻めの好機であると説く。同社の入社案内(97年)は、「ふつうの人生を送りたかったら、WOWOWだけはやめておきなさい」の言葉で始まり「それでもWOWOWでやりたい、キミを待つ」で終わっている。2001年より、同社代表取締役会長を務め、06年6月より、取締役相談役。08年6月より、ぴあ株式会社社外取締役(現任)。



唐池 恒二 (からいけ・こうじ) 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役会長

1953年、大阪府生まれ。77年、京都大学法学部卒業後、日本国有鉄道(国鉄)に入社。87年、国鉄分割民営化に伴い、新たにスタートした九州旅客鉄道(JR九州)において、特急「ゆふいんの森」やSL快速「あそBOY」等のD&S(デザイン&ストーリー)列車運行や博多—韓国・釜山間を結ぶ高速船「ビートル」就航に尽力する。また、大幅な赤字を計上していた外食事業を黒字に転換させ、別会社化したJR九州フードサービスの社長に就任。2002年、同社で自らプロデュースした料理店「うまや」の東京進出を果たし、大きな話題を呼んだ。09年6月、JR九州代表取締役社長に就任。11年には、九州新幹線全線開業、国内最大級の駅ビル型複合施設「JR博多シティ」をオープン。13年10月に運行を開始し、世界的な注目を集めたクルーズトレイン「ななつ星 in 九州」は、企画立案から自ら陣頭指揮を執った。16年には同社の長年の悲願であった株式上場を実現。現在、同社代表取締役会長。

(写真/白鳥真太郎)

著書に、『本気になって何が悪い—新鉄客商売—』『鉄客商売—JR九州大躍進の極意—』(PHP研究所)、『JR九州・唐池恒二のお客さまをわくわくさせる発想術—世界から集客!』(ぱる出版)等、多数。



平田 雅彦 (ひらた・まさひこ) 公益財団法人松下幸之助記念財団 監事

1931年、福岡県生まれ。54年、一橋大学商学部卒業と同時に松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)入社。その後日本ビクター株式会社に出向。同社専務取締役を経て、84年松下電器産業株式会社復帰、同社専務取締役、代表取締役副社長、常任監査役を経て、97年同社終身客員。その他日本監査役協会副会長、産業能率大学客員教授、企業社会責任フォーラム理事、エシックス・マネジメント代表など企業倫理の普及、啓蒙に携わる。現在は公益財団法人松下幸之助記念財団監事、株式会社エイチ・アイ・エス取締役など兼任。

著書に『二人の師匠—松下幸之助と高橋荒太郎』(東洋経済新報社)、『企業倫理とは何か—石田梅岩に学ぶCSRの精神』(PHP新書)、『ドラッカーに先駆けた—江戸商人の思想』(日経BP社)など。



宗次 徳二 (むねつぐ・とくじ) カレーハウスCoCo壱番屋 創業者

1948年、石川県生まれ。67年、高校卒業後、八洲開発株式会社入社。70年、大和ハウス工業株式会社入社。73年、不動産業「岩倉沿線土地」を開業。翌年、喫茶店「バックス」開業。78年、カレーハウスCoCo壱番屋創業。82年、株式会社壱番屋を設立し、代表取締役社長に就任。98年、同社代表取締役会長に就任し、2002年、同社創業者特別顧問に就任し現在に至る。03年、NPO法人イエロー・エンジェルを設立し理事長に就任。07年、クラシック専用「宗次ホール」がオープンし代表に就任。13年、NPO法人クラシック・ファン・クラブを設立し、理事長に就任。

表彰歴として、「アントレプレナー大賞部門 中部ニュービジネス協議会会長賞 受賞」(1994年)、「2004年 第6回企業家賞 受賞」、「まちかどのフィランソロピスト賞 受賞」(2007年)、「名古屋市長芸術奨励賞 受賞」(2012年)、「経済界大賞 社会貢献賞 受賞」(2017年)等、多数。

著書に、『宗次流日めくり 達人シリーズ 日々のことば』、『日本一の変人経営者』(ダイヤモンド社)、『CoCo壱番屋 答えはすべてお客様の声にあり』(日経ビジネス人文庫)、『夢を持つな！ 目標を持って！』(商業界)等、多数。



谷井 昭雄 (たにい・あきお) パナソニック株式会社 特別顧問、元社長

1928年、大阪生まれ。48年、神戸工業専門学校(現・神戸大学工学部)精密機械科を卒業。敷島紡績(現・シキボウ)、東洋金網(現・トーアミ)を経て、56年、松下電器産業(現・パナソニック)に入社。70年、録音機事業部長代理(のち、事業部長)、72年、ビデオ事業部長を経て、79年に取締役就任。その後、常務、専務、副社長を経て、86年、山下俊彦社長に代わり第4代社長に就任。93年に相談役、2003年に特別顧問に就任し現在に至る。また、公益財団法人霊山顕彰会特別顧問、特定非営利活動法人大阪府日本中国友好協会会長、一般社団法人日中経済貿易センター名誉会長、公益社団法人ボーイスカウト日本連盟特別顧問などを務める。



岩井 虔 (いわい・けん) 株式会社PHP研究所 客員

1936年、満州ハルビン生まれ。千葉県、徳島県で育つ。58年、京都大学教育学部卒業ののち、松下電器産業株式会社(現・パナソニック株式会社)に入社。61年、株式会社PHP研究所へ出向し、研究、編集、国際、研修部門を担当する。92年、同研究所専務取締役・研修局長を経て、97年に退任。同研究所顧問を経て、2009年より、現職。PHP研究所の所長であった松下幸之助に、28年間直接薫陶を受けつつ職務を担当。特にここ三十数年は、PHPゼミナールなど、主として企業人のための研修、講演に携わっている。著書に、『そう考えると楽ですね——松下幸之助との日々』(2006年・PHP研究所)。